

## 文教厚生常任委員会

調査研究事項

### ○教育環境の充実 について ○介護・健康増進・ 福祉について

#### 運動部活動

10月12日の委員会

本年3月、スポーツ庁から「運動部活動のあり方に関する総合的なガイドライン」が示されていることから、当町における対応について教育総務課長に説明を求めた。

#### ①ガイドライン要点

●校長は、「学校の運動部活動に係る活動方針」を毎年度策定する。  
●運動部顧問は、「年間の活動計画」並びに「毎月の活動計画」及び「活動実績」を校長に提出し、校長はこれを公表する。



元氣一杯の部活動を視察（玉ノ岡中）＝H30. 6. 26

●学期中は、週当たり2日以上  
の休養日を設ける。  
●1日の活動時間は、長くて  
も2時間程度、学校の休業日  
は3時間程度とする。

#### ②嵐山町教育委員会

●平成30年7月17日付けで町  
立中学校2校に、「部活動の改  
善及びその検討について」及  
び「嵐山町立中学校に係る部  
活動の方針」の文書を発出し  
た。

●夏休み中の8月と2学期に  
入った9月の2か月間、部活

動の実績を調査、両校とも平  
日の2時間と土・日曜日の3  
時間程度を守って活動がなさ  
れていることを確認した。  
③文教厚生常任委員会  
運動部活動の課題に対し、  
国のガイドラインに沿った形  
で対応されていることが確認  
されたことから、本調査はこ  
れにより一旦終結することに  
した。

#### 健康増進計画

10月12日の委員会

嵐山町の健康増進を調査す  
るため、健康いきいき課長に  
「嵐山町の健康増進計画」に  
ついて説明を求めた。

#### 10月30日の委員会

12日の説明に対する委員問  
の意見交換を行い、調査事項  
の絞り込みを行った。

#### 11月7日の委員会

30日の委員会に基づき、  
「めざせ100歳元気！元  
氣！」事業、元氣はつらつ体  
操教室などの行政施策、事業



にこにこ会（吉田）活動の様子＝同会提供

の活動状況、将来の方針及び  
課題  
●「健康長寿サポーター」、「認  
知症サポーター」、「健康長寿  
にかかると自主グループ」等の  
活動内容、状況及び課題  
●心の健康に関し、重度心身  
障害者の実態と対策及び課題  
の3項目について、健康いき  
いき課長及び長寿いきがい課  
長に説明を求めた。  
11月20日の委員会  
平成30年第4回定例会にお  
ける文教厚生常任委員会委員  
長報告のまとめ及び今後の調  
査研究について協議した。  
以上中間報告

## 広報広聴常任委員会

### (1)議会だより172号 発行について

平成30年9月定例会審議内  
容を主に、議案（決算審査特  
別委員会等）、一般質問、各委  
員会、一部事務組合報告等を  
掲載とし、入校に際し、記事、  
写真、キャプション等を確認  
及び原稿文字数について指摘  
があり、公平性の観点から  
再度、議員に要請となる。再  
校では一部記事でグラフとの  
アンバランスがみられ、再々  
校にて確認となる。

### その他議会だより 決定事項

●埼玉県町村議会広報研修会  
（さいたま市）に参加、議会  
だよりの最新情報、掲載注意  
事項を研修。  
●印刷業者と次号日程打合せ  
をし、原稿締切12月19日、入  
稿12月21日、発行2月1日と  
確認、決定。



県広報研修大会参加＝H30. 11. 15

### (2)第14回議会報告会意見 交換開催について

開催マニュアルを精査、分  
担及び日程、開催時間、ポス  
ター、意見交換グループ、開  
催案内等を決定。意見交換会  
のテーマは関心が増す町観光  
事業について、町自然災害対  
策を選定、依頼団体の検討他、  
広報等は前回と同様で決定。

リハーサルは当日同様に議員  
全員で対応する。

今回も11月10日一日の開催  
とし、午前の部は町民ホール  
午後の部はふれあい交流セン  
ター、参加者は午前の部男性  
17名、女性16名、計33名、午  
後の部は男性19名、女性7名、  
計26名、参加者合計59名とな  
った。今回も議会報告は最小  
限の報告に留め意見交換に多  
くの時間をとり、テーマに沿  
った今後の「十年の苑事業運  
営」及び「予測のつかない豪  
雨災害」に多くの意見が出さ  
れ、活発な討論となった。報  
告書は1月18日の委員会で最  
終確認、ホームページ掲載他  
役場、ふれあい交流センター  
で配布する。

### (3)ICTタブレット 導入審議について

議員全員でモアノートデモ  
研修を受ける。特に違和感  
なく共通認識がとれた。  
導入効果検証として執行よ  
り9月議会での紙資料提供枚

数、ペーパー転換時間、配布  
時間の実績値、他事務局内の  
調査結果も報告される。初見  
的には紙代は低額であるが人  
件費等は高額となる。及び再  
調査検討では12月及び3月定  
例会でも再調査依頼となる。  
タブレット見積が業者より  
出されたが仕様、台数も未定  
であり、今後の参考資料とし  
て利用することになる。



第14回議会報告会、意見交換会＝H30. 11. 10